

文藝と思想

第 65 号

『徒然草』近世的享受の一面 —— 艸田斎寸木子三徑『つれづれ草絵抄』序説 —— 大久保 順 子	1
草双紙の仮名遣い ——『无筆節用似字尽』寛政板と天保板との比較を通して—— 矢 野 準	21
広瀬旭荘の「夜過二州橋書暁目」詩 —— 成立事情とその推敲の態度をめぐって —— 月 野 文 子	33
日本における李退溪研究と現代的意義について 疋 田 啓 佑	47
カントにおける哲学と歴史 望 月 俊 孝	63
書評：マリア・フビーニ・レウッツィ 『「名誉へと導く」——近代フィレンツェにおける家族、結婚、嫁資援助』 北 田 葉 子 (63)	
教育課程改革と精神科学の概念 —— 知識を習得するとはどのようなことか —— 森 邦 昭 (25)	
The Time of Evasion C. S. Schreiner (1)	
彙 報	85
